

国試対策の決定版!

丁寧な解説と別冊付録で知識を整理!

この1冊で
合格!



系統別

看護師 国家試験問題

解答と解説

2014年版

『系統看護学講座』編集室 編

● B5 頁1544 2013年 定価5,670円(本体5,400円+税5%)
[ISBN978-4-260-01767-1]
消費税変更の場合、上記定価は税率の差額分変更になります。

受験生をしっかり支える7つのポイント

1. 信頼の解説陣!!

解説陣は『系統看護学講座』の執筆者を含む総勢74名の専門家。
詳しく丁寧な解説で、各選択肢の正誤の根拠がしっかりと理解できます。

2. 6年分の過去問題1,440問を全問収録

最新6年分(2008~2013)の国家試験問題を全問収録しています。
解説を読み、設問の意図や背景を理解し、繰り返し問題を解くことが本番への自信につながります。

3. 授業でも自習でも使えるテーマ別配列

過去問題をカリキュラムに沿った系統別に分類、そのうえでテーマごとにまとめて配列しました。授業で学習したあとすぐに該当するテーマの問題を解くことで、知識の定着がはかれます。

4. 国家試験の頻出・重要事項を分析

過去の国家試験問題を分析し、頻出・重要事項を「覚えておきたい重要事項」として別冊にまとめました。また、各教科の末尾にある「チェックアップ」では、近年出題された教科ごとの要点がまとめられています。

5. 模擬問題・必修問題もこれ1冊でOK

好評の模擬問題は、「視覚素材問題」や非選択形式の「計算問題」など、最新の出題形式を取り入れました。また必修問題については、過去問題とともに「出題傾向と対策」をまとめてありますので、1冊で問題集2冊分、3冊分の役目を果たします。



「覚えておきたい重要事項」
「第102回看護師国家試験問題
(2013年2月実施)」が
別冊付録としてついています。

別冊
付録



6. 理解を深める図表を多数追加

問題の解説に、知識の「プラスワン」となるイラストや表を追加したことで、わかりやすく学習しやすい紙面になりました。

7. より軽く、より使いやすく

特殊な製本・加工をしたことで、本がより軽く、そして開きやすくなりました。またルーズリーフとしても使いやすくなり、整理・持ち運びが一層楽になっています。



医学書院



系統別+テーマごとに
過去問題を分類して配置

同じテーマの問題を
まとめて解くことで
出題傾向がわかります

理解を深める
イラストや表を多数
追加しました

必修問題に出題された
ことのある項目には
※マークがついています

頻出事項をコンパクトな冊子に収載した、
別冊付録「覚えておきたい重要事項」

▶▶▶▶▶ 頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア

脳ヘルニアの症状はどれか。
1. 潮熱
2. 痙攣
3. 瞳孔の拡張
4. チョーンストークス呼吸

▶▶▶▶▶ plus one 脳ヘルニア

部位	大脳脚下部ヘルニア	大脳脚上部ヘルニア	大脳脚上部ヘルニア	大脳脚下部ヘルニア
原因	大脳脚下部ヘルニア	大脳脚上部ヘルニア	大脳脚上部ヘルニア	大脳脚下部ヘルニア
特徴	大脳脚下部ヘルニア	大脳脚上部ヘルニア	大脳脚上部ヘルニア	大脳脚下部ヘルニア
症状	大脳脚下部ヘルニア	大脳脚上部ヘルニア	大脳脚上部ヘルニア	大脳脚下部ヘルニア

成人看護学・脳・神経 445

※サンプルページは制作中のものです

腎・泌尿器

検査時の看護

- 1) 検査前準備: 腎臓の機能を総合的に検査。①血清クレアチニン: 男性で1.2 mg/dL以上、女性で1.0 mg/dL以上であれば腎機能障害が疑われる。②血中尿素窒素(BUN): 基準値は8~20 mg/dL程度。③糸球体濾過量(GFR): 単位時間に糸球体で濾過される水分量をあらわす。正常値は70~100 mL/分程度。
- 2) 膀胱鏡検査: 経尿道的に内視鏡を挿入。感染の防止のため、無菌操作で行う。また、十分な水分摂取と前駆を行う。
- 3) 腎生検・膀胱生検: 経皮的生検が一般的。生検後は出血の防止に12~24時間の安静が必要。

急性腎不全

腎臓がなんらかの原因で急激に高度の機能低下を示す状態を急性腎不全(ARF)と呼ぶ。

観察のポイント

尿の異常の有無: 尿の色・量・比重・浸透圧、血尿、タンパク尿
 水・電解質異常の有無: 浮腫、脱力感、意識障害、高カリウム血症、アンダーレス
 ③ 高尿酸血症
 ④ 尿毒症の症状の有無: 呼吸器・循環器・消化器症状、神経症状、高血圧などの全身症状

30ポイント

試験によく出る検査基準値

- ・尿量 1000~2000 mL/日
- ・尿比重 1.000~1.030
- ・尿pH 5.0~8.0
- ・尿タンパク 40~150 mg/日

頻出事項として出題されたことのある事項 161

Contents

国家試験の概要と受験対策
国家試験問題 年度別・教科別出題数一覧
本書の使い方
国家試験受験にあたって

- <教科別>
(以下の教科ごとに次の項目が並びます)
- 第97回~101回(2008~2012年) 看護師国家試験問題[解答・解説]
 - チェックアップ

必修問題 必修問題の出題傾向と対策
 人体の構造と機能 解剖生理学/生化学/栄養学
 疾病の成り立ちと回復の促進 病理学/薬理学/微生物学
 健康支援と社会保障制度 公衆衛生学/社会福祉/関係法規
 基礎看護学 看護学概論/基礎看護技術/臨床看護総論
 成人看護学 成人看護学総論/呼吸器/循環器/血液/消化器/内分泌・代謝/脳・神経/
 腎・泌尿器/女性生殖器/運動器/アレルギー・膠原病/皮膚/眼/耳鼻咽喉/歯・口腔
 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学
 在宅看護論 看護の統合と実践

看護師国家試験模擬問題 解答・解説

[別冊付録①] 覚えておきたい重要事項
 [別冊付録②] 第102回看護師国家試験問題 解答と解説

